

天 梅が香にふらりと路を変へにけり (宗道)

地 四五本の蕨置かれし地藏かな (浄淵)

人 日と風とささやきて咲く黄水仙

(徹心)

- 1 待ち人は今夜も見えず朧月 (白堂) 1  
 2 春北斗月の砂漠の柄杓かな (篠原)  
 3 重なりて大欠伸する目刺かな (門屋) 3  
 4 一直線青天を突く冬芽かな (徹心) 3  
 5 春霞昔の情緒消え失せて (寶州)  
 6 すれちがふ人なつかしや春の夜 (浄淵) 3  
 7 春めくや山麓に見る朝霞 (西田) 1  
 8 孫の手に二つ三つの雛あられ (田中) 2  
 9 軍配は紅白いづれ梅の宿 (宗道) 2  
 10 探梅や竹短冊に秀句あり (白雲)  
 11 明王の火焰に積もる春の雪 (石濱)  
 12 コンビニの白き袋や雛祭り (霊峰)  
 13 そっぽ向きお茶すゝり合う春炬燵 (篠原) 2  
 14 妻の描く蛤雛の顔やさし (門屋) 3  
 15 春の夜いよよおつむの朧かな (浄淵)  
 16 白酒に匂ひてもみたし夜坐三日 (白堂)  
 17 春の宵時間も忘れネット囲碁 (西田)  
 18 畦道に顔のぞかせる土筆んぼ (田中) 1  
 19 里山の景色ふんわり枯木立 (寶州) 1  
 20 頭だしただよふ亀や池温む (石濱) 3  
 21 妻の背にレタスの色の陽射しかな (霊峰) 1  
 22 音もなく曳き船遠く日脚伸ぶ (白雲) 2  
 23 ソチ五輪悲喜こもごもの涙あり (無傳)  
 24 吾子くるむような新芽のチューリップ (宗道) 1  
 25 大根の切り口違い嫁姑 (徹心) 1  
 26 雪なのに庭の手摺りに鳩一羽 (田中)  
 27 門標を覆はんばかりしだれ梅 (宗道) 1  
 28 レコードに針やはらかく春の歌 (霊峰) 3  
 29 崩れ垣春告草のひそと咲き (白雲) 1  
 30 葉隠れに百の椿の咲き競う (門屋) 1  
 31 桜桃の花にいたずら小鳥たち (寶州)  
 32 失敗もあつて只今春の雲 (石濱) 2  
 33 蕨狩媪つぶやくはやり唄 (浄淵) 3  
 34 寒ゆるみ真青き空に雲雀舞う (西田)  
 35 崩れ雪達磨に手向け木の葉菓子 (篠原) 1  
 36 祖母が雛気持ち悪いと孫が泣き (白堂)

- 37 弥生尽母もとうとう白寿なり (田中)  
 38 梅が香にふらりと路を変へにけり (宗道) 7  
 39 地を這いて大蛇となりし梅古木 (白雲)  
 40 春近しここそこあそこきざしあり (無傳) 2  
 41 梅の香ややさしき風のなほやさし (石濱)  
 42 奔放に垣より落つる枝垂れ梅 (霊峰)  
 43 卒業や羽根うつくしき池の鴨 (徹心)  
 44 値札下げ支度整う植木市 (門屋)  
 45 身の上はなしする三人ひなあられ (篠原)  
 46 桃の湯田相見したり山頭火 (白堂)  
 47 春浅しもの寄せ付けぬ蔵の戸や (寶州) 2  
 48 里山の蕨問ひける便りかな (浄淵) 3  
 49 雪解けや清き流れに四方の風 (西田) 1  
 50 白梅の散りて葉陰の紅に添い (徹心)  
 51 春愁の部屋一面の反古かな (霊峰) 1  
 52 雪解けの流れまたいで山下る (石濱) 1  
 53 雲白く遠山層々として春浅し (白雲) 1  
 54 水ぬるむシロウオおどる室見川 (宗道)  
 55 梅が香につどい集まる散歩道 (無傳)  
 56 孫生えの魂宿る若芽かな (田中)  
 57 天降りて残雪蒼し背振山 (篠原)  
 58 鶯一羽羽先拵げて春の空 (門屋)  
 59 日と風とささやきて咲く黄水仙 (徹心) 4  
 60 電柱に巢架け騒ぐかささぎよ (寶州)  
 61 今聞いて又忘れたる日永かな (西田) 1  
 62 四五本の蕨置かれし地藏かな (浄淵) 5

